北部病院だより 第112号(2017.10) Showa University Northern Yokohama Hospital

【巻頭言】ICU の麻酔科医について

【お知らせ】秋期市民公開講座について

【TOPICS】高濃度乳腺と乳がん検診について

【医師の配属・異動・退職、診療統計】

【患者さんからのご意見・ご要望】

【お知らせ】がん患者サロン「きぼう」について

【お知らせ】人権啓発映画会について

【編集後記】



昭和大学横浜市北部病院

90th SHOWA University 至誠一貫 Since 1928

巻頭言 ~ICUの麻酔科医について~

先日、秋篠宮ご夫妻の長女眞子さまと小室さんの婚約内定のご発表がありました。お二人の出身校の国際基督教大学(International Christian University)は ICU と略称で呼ばれることが多く、今回のご婚約によって知名度がより一層高まっていると感じております。

医療の世界で ICU といえば集中治療室のことで、こちらは Intensive Care Unit の略称です。ICU は生命の危機にある重症患者さんを、24 時間の濃密な観察のもとに先進医療技術を駆使して集中的に治療するところです。



〈麻酔科〉 大江 克憲 准教授

私は集中治療室の室長を拝命しておりますが、麻酔科に所属しております。手術の際に患者さんを「眠らせる」麻酔科医がどうして ICU で重症患者さんの管理をするのでしょうか?ICU は意識状態の思わしくない患者さんを良くするところなのに、「逆じゃないの?」と不思議に思われるかもしれません。

麻酔は患者さんを単に「眠らせる」だけの技術ではなく、手術による痛みや不安、出血、虚血などといった多くのストレスから患者さんを守るための医療です。手術中、麻酔科医は意識状態の調節はもちろんのこと、麻酔で呼吸ができなくなった患者さんに人工呼吸を行い、循環や体温の管理もします。そして手術が終わると何事も無かったかのように患者さんを目覚めさせます。手術は言わば「人為的な大けが」であり、手術中の患者さんの全身管理を学ぶことで、重症患者さんの管理に必要な基礎知識や技術を身に着けることが可能になります。日々の手術の麻酔がICUの重症患者さんの管理に役立つのです。そういった理由で、麻酔科医が集中治療を分担している病院が数多く存在しています。

ICU では医師だけではなく、看護師、薬剤師、臨床工学技士、理学療法士、歯科衛生士など多職種の専門家が患者さんの診療にあたっています。濃密な看護が必要なので、患者さん 2 人に対して 1 人の看護師が常時配置されています。病棟は患者さん 7 人から 10 人に対して看護師が 1 人なので、その濃厚さがお解りいただけると思います。

ICU には仰々しい機器やモニターなどが多く、どうしても無機的な印象をお与えしてしまうかもしれませんが、ICU で働くスタッフまでがクールというわけではありません。ICU のスタッフは、様々な理由でうまく意思疎通がはかれない患者さんの訴えや、状態を察する能力に長けており、高度で心のこもったコミュニケーション能力を身につけているものと自負しております。重症患者さんを対象とする部署なので、皆様とはお目にかかる機会が極力少ないことを願っておりますが、やむなく入室される患者さんには少しでも早い社会復帰のお手伝いができますよう、ICU スタッフー丸となり病院の奥の方で頑張ってまいりたいと思います。



お知らせ ~秋期公開講座について~

先月、お知らせいたしました【秋期市民公開講座】が今月14日(土)に開催いたします。 下記に詳細のポスターを掲載しておりますので、ご覧ください。 皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



前晟公關意

聴覚障害の方もお気軽にご参加いただけるように 手話通訳/音声通訳・要約筆記・磁気ループを ご用意しております。

□時 2017年**10**月14日(土)

受付開始 13:15~ 第1部 13:30~ 第2部 14:30~

会場 昭和大学横浜市北部病院 西棟4階講堂

予約方法・院内各所の受付箱 2階 エスカレーター横、1階 総合案内または管理課 地下1階 防災センター

- FAXまたはE-mail
- ※事前申込みをお願いいたします。

司会:長塚正晃教授(産婦人科)

第1部 13:30~14:00

「腰痛について」

~手術を要するサインを見極めよ~

講師: 大下優介講師 熱物料



第2部 14:30~15:10

「喘息について」

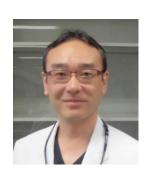
長引く咳に要注意!!~隠れ喘息の 診断と治療を中心としたお話~

講師: 松倉聡准教授 呼吸器センター



TOPICS ~高濃度乳腺と乳がん検診について~

"乳がん検診"と聞くと、痛い!恥ずかしい!家族にいないから私には関係ない!時間がない!などと伺う機会があります。現在の日本における乳がん罹患率は年々増加しており、12人に1人の割合で発症すると言われています。誰でも罹患する可能性があります。増加の原因は食生活の変化などに伴い女性ホルモンの一つであるエストロゲンの分泌に影響していることが考えられています。しかし、我が国においては30歳代から60歳代までの女性がん死のトップであるにもかかわらず、未だに興味を持っていただけない方が多いのも現実です。



〈外科〉

さて、"乳がん検診"と聞くとマンモグラフィ検査を思い出す方が多い

と思います。撮影は受けているが実際の写真を見たことがない方も多いのではないでしょうか。異常がなければ報告書に「異常なし」や「経過観察」などの文字だけをみることがほとんどだと思います。マンモグラフィは乳房全体を 2 枚の板で挟み込み撮影をします。マンモグラフィの結果は個々の乳房環境により濃度の違いがあり、現在の検診現場では大きく 4 通り(脂肪性、乳腺散在、高濃度不均一、高濃度)の乳腺濃度に区別しています。年齢や乳腺量の違いによりマンモグラフィ写真の乳腺濃度の違いが出ます。乳腺濃度が高ければ高いほど乳がんなどの腫瘤が発見しにくくなるために、超音波検査の併用が推奨されます。

このような乳腺濃度の違いを知ることは個々の状態に合わせた適切な検診を受けていただくためにも重要な情報と考えます。しかし、現在までに対策型(行政など)乳がん検診の場ではこの乳腺濃度の違いについて詳細な報告はされていません。高濃度乳腺の方が皆、精密検査の対象となってしまっては不必要な検査が増加してしまう可能性があるからです。また、日本のグループが発表した超音波検診とマンモグラフィ検診との併用に関する臨床試験(J-START)が行われた結果ではがん検出率が増加したことが報告されましたが、死亡率の減少効果にはつながっていません。

今後も乳がん検診を受診することは早期発見、早期治療につながります。しかし、近年は検診結果による過剰診断にも注目しなければいけない時代となっています。検診を受けるだけではなく、正しい受診方法や正しい乳がんの情報を知ることが大切です。今後、当院でのドックを受けられた方には乳腺濃度に関する報告も検討していきたいと考えています。



医師の配属・異動・退職

新規配属医師 2017年10月						
【附注 ・ 対 ・ 対 ・ 対 が が が が が が が が が が が が が が	(皮膚科) (放射線科) (耳鼻咽喉科) (産婦人科) (形成外科) (整形外科) (整形外科)		大学病院 大学病院 大学病院 大学病院 藤が丘病院 藤が丘病院 江東豊洲病院	皮膚科より 放射線科より 頭頸部腫瘍センターより 産婦人科より 形成外科より 整形外科より 整形外科より	(10月1日付) (10月1日付) (10月1日付) (10月1日付) (10月1日付) (10月1日付) (10月1日付)	
【他施設より】 ・佐藤 英章 ・伊吹 圭二郎	(こどもセンター) (循環器センター)			医科大学横浜市西部病院より Σ循環器センターより	(10月1日付) (10月1日付)	
【学外研修戻り】 ・川内 雄大	(脳神経外科)		大学病院	脳神経外科より	(10月1日付)	
異動・退職医師					2017年10月	
【附山・大土・安・・高属田・山澤橋藤川・大・土・安・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(耳鼻咽喉科 = (こどもセンター = (こどもセンター = (皮膚科 = (整形外科 = 	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	大 大学病院 大学病院 大学がが丘丘 が丘丘病院 藤が丘病院院	放射線科へ) 耳鼻咽喉科へ) 小児科へ) 小児科へ) 皮膚科へ) 整形外科へ) 整形外科へ)	(10月1日付) (10月1日付) (10月1日付) (10月1日付) (10月1日付) (10月1日付) (10月1日付)	
【学外研修へ】 ・八木 由里子 ・岡本 怜士 ・阪本 有	(整形外科 =	⇒ ⇒ ⇒	荏原病院へ) 太田綜合病院M AOI国際病際	対属太田西ノ内病院へ) 完へ)	(10月1日付) (10月1日付) (10月1日付)	
【退職】 · 浅田 大 · 校條 愛子 · 富永 牧子	(循環器センター) (こどもセンター) (こどもセンター)				(9月30日付) (9月30日付) (9月30日付)	

診療統計

前年同月比 ()内は1日平均

診療実日数 2016 年 8 月 (入院: 31 日·外来: 26 日)、2017 年 8 月 (入院: 31 日·外来: 26 日)

	入院患者数	外来患者数	救急搬送数	手術件数
2016年8月	19,613 人(632.7 人)	28,653人(1,102.0人)	496 件(16.0 件)	773 件(35.1 件)
2017年8月	19,098 人(616.1 人)	28,967人(1,114.1人)	573件(19.1件)	796件(36.2件)

患者さんからのご意見・ご要望

日々患者さんよりいただきましたご意見·ご要望に関しましては、院長及び関連する部署の責任者に報告し、 改善に努めております。

今までのご意見の中で多くいただいたものや最近のご意見·ご要望を中心に改善策を掲載させていただきました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望

回答・改善等

<環境について>

車椅子のタイヤの空気が少ないので、補充してください。

他 12 件

ご迷惑をおかけいたしまして、大変申し訳ございませんでした。

ご指摘いただき、院内に配置しております車椅子の空気の充填具合を総点検いたしました。従来、車椅子の状態は定期的に点検しておりましたが、今後より一層の点検を実施いたします。万が一、車椅子に不具合等がございましたら、大変お手数ですが、近くのスタッフまでお声掛けいただければ、すぐに対応いたします。

ご理解とご協力の程、宜しくお願いいたします。

<運用・サービスついて>

入院時、病棟薬剤師の方がお薬手帳の確認を して下さいますが、退院時の院内処方のお薬に 関してはお薬手帳に貼るシールが出てきません でした。

是非シールを出して下さるようお願いしま す。

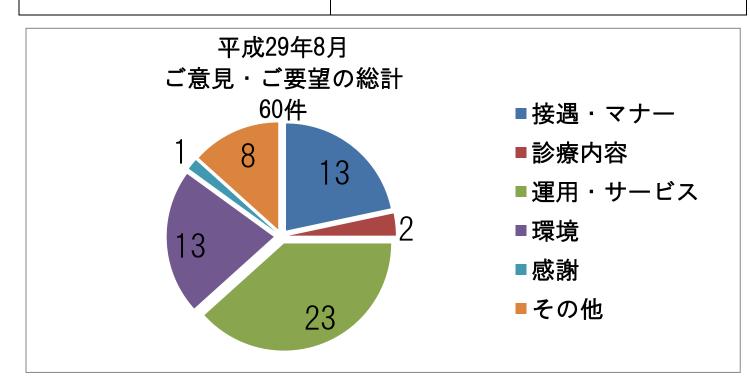
他 22 件

貴重なご意見ありがとうございます。

退院される患者さんには、薬剤師からお薬の説明とともに、お薬説明書およびお薬手帳用シールをお渡ししております。

土日祝日に退院される患者さんは、平日にお薬が事前に処方されていた場合は同様の対応をさせていただいております。しかし、土日祝日は病棟の薬剤師が不在のため、処方されたお薬に関して現状十分な対応ができておりません。

今後、土日祝日に退院される場合にも対応できるよう協議・ 検討させていただきます。



お知らせ ~がん患者サロン「きぼう」について~

2011年11月に北部病院でがん患者サロンが開設し、今年で8年目になります。

患者サロンとは、同じ病気をもつ患者さん同士・ご家族同士が自由に集う交流の場・語らいの場です。 私達医療スタッフは、患者さんやご家族の気持ちに寄り添えるよう日々努めておりますが、当事者同士 で話せること・分かり合えることがあると思います。心の内を語り合う中で、少し気持ちが軽くなったり、 勇気や元気がもらえたり、いつの間にか元気をあげていたり、いつもと違う考え方に触れたり、生活上の 工夫のヒントが見つかったり・・・など、「ひと」と「ひと」の自由な交流からお互いの支え合いの力を 出し合う場になることを願って、この患者サロンは開設されました。

現在の患者サロンは、毎回数名の方が参加されています。少人数ならではのアットホームな雰囲気で、毎回過ごしていただいております。また、患者サロンの前半はスタッフによるミニレクチャーを開催し、がんに対する知識や心構えを学ぶ機会を設けております。患者サロンに参加することで、今後の治療や日常生活に会での学びを活かしていただければと考えております。

希望を持つ気持ちを大事にしよう、希望を一緒に見つけましょう、希望はいつもあると信じよう・・・などなど第 1・2 回参加メンバーのさまざまな気持ちを込めて付けられた名前です。

患者サロンは、当院のがん相談支援センターが中心となって開催しております。

下記のポスターに日程を掲載しております。皆さまのご参加をお待ちしております。

昭和大学横浜市北部病院がん患者サロン『きぼう

がん患者さん、がん患者さんのご家族を対象に患者サロンを開催しています。院外の患者さん、ご家族も参加いただけます。 事前の登録が必要です。 1階総合相談センターへお越しください。

平成29年度 ミニレクチャー予定表

場所:9階会議室(当日、案内を出しています。)

日時:第3木曜日(14:00~14:40)

*ミニレクチャー後は、交流会を行います。

日程	テーマ	担当者
10月19日	がん治療と生活シリーズ 3. 治療中のスキンケア、口腔ケア	集中ケア認定看護師 皮膚排泄ケア認定看護師
11月16日	がん治療と生活シリーズ 4. 治療中の食事の工夫	管理栄養士
12月21日	がん治療と生活シリーズ 5. がん治療中のアピアランス (外見の) ケア	がん相談支援センター看護師 資生堂ライフウオリティビューティーセンター担当者
1月18日	がん治療と生活シリーズ 6. 放射線治療って、どんな治療?	診療放射線技師
2月15日	がんの痛み止めについて 緩和ケア、緩和ケア病棟って何?	緩和ケアチーム薬剤師 緩和ケア認定看護師
3月15日	がん治療とリハビリテーション ~日常生活で活用できる運動とストレッチ~	理学療法士

〈がん相談支援センター 一同〉



サロンの愛称:「きぼう」 ガーベラの花言葉:「きぼう」



お知らせ ~人権啓発映画会について~



★編集後記★

秋の行楽シーズンが到来し、アウトドアレジャーの心地よい季節となりました。公園の木々の中、楽しく遊んだ後に家に帰ると首や腕に強い痒みを生じる皮疹を認めることがあるかもしれません。市街地の公園でみられるサザンカやツバキの葉にはチャドクガの幼虫が発生し、毛虫に触れたことに気付かず皮膚炎を生ずる"チャドクガ皮膚炎"をこの季節、皮膚科の外来でみかけます。毒針毛は肉眼ではみえず、すぐに皮疹が生じる場合と帰宅後に皮疹が生じる場合が人によって違うことが特徴です。毒針毛は衣服に付着すると洗濯してもある程度残存するため、幼虫に触れた可能性がある衣服は他の衣服とわけて複数回洗濯することをお勧めします。

〈皮膚科 小林 香映〉

〈前月号の訂正〉

北部病院だより第 111 号 (2017.9) において、誤表 記がありましたので、訂正させていただきます。

巻頭言【横浜市北部 産前産後ケア・子育て支援研究会について】

誤 ⇒ 【母性認定看護師】 正 ⇒ 【母性看護専門看護師】 となります。 北部病院だより 第 112 号 平成 29 年 10 月 1 日発行

発行責任者 門倉 光隆(昭和大学横浜市北部病院長)編集責任者 緒方 浩顕(広報委員会 委員長) 発行 地域中核病院 昭和大学横浜市北部病院 〒224-8503 横浜市都筑区茅ケ崎中央 35-1 電話 045-949-7000(代表)

URL:http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html 北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』 がご覧いただけます。